

年間指導計画

教科 国語		科目 現代文特講	履修対象年次 3	単位数 2	
科目担当者					
身に付けられる力		・思考力 ・読解力 ・表現力 ・伝え合う力			
学期	月	授業 時数	単元名	学習活動	身に付けられる力
1 学 期	4	4	1 随筆・評論文の問題演習	・随筆・評論文の論旨の流れ・筆者の主張を理解する。	・文章に対する疑問を抱く読解力 ・評論対立項をつかむ読解力
	5	8	2 随筆・評論文の問題演習	・筆者が表現しようとしたものをつかみ、自分の言葉で表現する。	・筆者が表現しようとしたものをつかむ力・筆者の論点を正確にとらえる力
	6	8	3 小説の問題演習	・小説の読解にて、登場人物の心情の把握・作品の主題を理解できたか。	・小説の読解にて、登場人物の心情の把握・作品の主題を理解する力。
	7	4	※入試問題演習	・問題演習時の漢字演習・重要語の語意の演習と併せて、受験に対応できる語彙力の向上を図る。	・問題演習時の漢字演習・重要語の語意の演習と併せて、受験に対応できる語彙力。
	8				
2 学 期	9	6	1 随筆・評論文の問題演習	・随筆・評論文の論旨の流れ・筆者の主張を理解する。	・文章に対する疑問を抱く読解力 ・評論対立項をつかむ読解力
	10	8	2 随筆・評論文の問題演習	・筆者が表現しようとしたものをつかみ、自分の言葉で表現する。	・筆者が表現しようとしたものをつかむ力・筆者の論点を正確にとらえる力
	11	8	3 小説の問題演習	・小説の読解にて、登場人物の心情の把握・作品の主題を理解できたか。	・小説の読解にて、登場人物の心情の把握・作品の主題を理解する力。
	12	6	※入試問題演習	・センター入試独特の問題傾向への習熟度は高める。	・センター入試独特の問題傾向への習熟度。
3 学 期	1	2	※入試問題演習	・非センター問題、特に論述問題への対応力を身につける。	・非センター問題、特に論述問題への対応力。
	2				
	3				
合計時数		54			
教科書 副教材	いいずな書店「プログレス 現代文総演習 完成編」 Benesse「現代文マーク 2024共通テスト」 いいずな書店「新 現代文単語」				
評価の方法・観点	平常点、小テスト、定期考査の結果等を含め総合的に判断する。				
履修上の注意点	なし				
特記事項等	なし				

年間指導計画

教科 国語		科目 現代文B		履修対象年次 3	単位数 2
科目担当者					
身に付けられる力		・思考力 ・読解力 ・表現力 ・伝え合う力			
学期	月	授業 時数	単元名	学習活動	身に付けられる力
1 学 期	4	7	1 小説「檸檬」（梶井基次郎）	・論理的な文章を読み取り、その思想や主張を理解し、自分の言葉で表現する。	・論理的な文章の理解力、表現力
	5	6	2 評論「環境保護は何を意味するか」（加茂直樹）	・本文について読み取った情報を全体で共有する。	・文章に対する疑問を抱く読解力
	6	8	3 評論「〈私〉はどこへ行く」（黒崎政男）	・文学的文章を読み取り、筆者が表現しようとしたものをつかみ、自分の言葉で表現する。	・文学的文章の理解力、表現力
	7	3	4 小説「忘れられたワルツ」（糸山秋子）	・筆者の論点を話し合い、より正確な論点を考える。	・筆者の論点を正確にとらえる力
	8				
2 学 期	9	5	1 小説「舞姫」（森鷗外）	・筆者の論点を話し合い、より正確な論点を考える。	・筆者の論点を正確にとらえる力
	10	7	2 評論「グローバル化の波打ち際で」（西谷修）	・段落のつながりを把握し、全体の構成を理解する。	・評論における全体の構成をとらえる力 ・要約力
	11	8	3 随想「後生の桜」（石牟礼道子）	・文学作品を鑑賞し、表現に即して登場人の心情や周囲の状況を読み取る。	・文学作品の表現に即して登場人の心情や周囲の状況を読みとる力
	12	4	4 評論「陰翳礼讃」（谷崎潤一郎）	・その作品の生み出された時代背景・文化について調べ、作品との関連を考察する。	・その作品の生み出された時代背景・文化について考察を深める力。
3 学 期	1	1	問題演習	・センター入試独特の問題傾向への習熟度を高める。	・センター入試独特の問題傾向への習熟度。
	2	0			
	3	0			
合計時数		49			
教科書 副教材	教育出版「現代文B」 いいずな書店「評論・小説を読むための新現代文単語」 京都書房「三訂版 新国語総合ガイド」 第一学習者「意味から学ぶ頻出漢字3000」				
評価の観点・方法	平常点、小テスト、定期考査の結果等を含め総合的に判断する。				
履修上の注意点	なし				
特記事項等	なし				

年間指導計画

教科		科目		履修対象年次		単位数	
国語		古典BⅡ		3年次		4	
身に付けられる力		・古典に親しむ態度 ・思考力 ・語彙力 ・古典文法 ・読解力					
学期	月	授業 時数	単元名	学習活動	身に付けられる力		
1 学期	4	10	<古文> 「枕草子」 宮に初めて参りたる頃/御方々、君達、 上人など/無名といふ琵琶の御琴を/古 今の草子を 「大鏡」 道真左遷/師輔の夢/兼道と兼家の確執/ 若き日の道長/三船の才 <漢文> 季札挂劍/糟糠の妻/長安何如日遠/鼓腹 擊壤/伯夷叔齊/蘇武持節	①個々の文学作品を体系的に扱いなが ら、語彙、文法事項を確認しながらの文 脈の把握、読解を行う。 ②基礎的な文法事項の習得を図る。(用 言、敬語・助動詞・助詞、漢文句法) ③その当時の社会的な状況・文化に対す る考察を深める。 ④受験に対応した語彙・文法事項の習得 及び問題演習。	①自らの力で読解をすすめるための基 本的な語彙、文法、漢文基礎知識の習 得と読解のトレーニング。 ②古典の理解を深めるための、当時の 社会状況、文化、史実への理解を深め る。		
	5	10					
	6	18					
	7	2					
	8						
2 学期	9	10	<古文> 「和泉式部日記」 帥の宮からの便り/帥の宮の訪れ 「源氏物語」 夕顔の死/葵の上に取り憑く物の怪/明 石の君の苦悩/女三宮の降嫁/紫の上の 死 <漢文> 「史話」赤壁の戦い 「史記」完璧帰趙/灑池の会/刎頸之交 「漢詩」月下独酌/石壕吏	①上記の学習事項に加え、源氏物語、史 記に焦点をあてて文学作品の読解を行 う。 ②漢詩、中国思想に触れ、その基礎的な 概念を学ぶ。 ③問題演習に取り組み、受験に対応する 基礎学力の向上を図る。	①上記の学力に加え、体系的に古典文 学作品への理解を深める。 ②中国思想、文化への理解を深める。 ③受験に対応する基礎学力の向上。		
	10	12					
	11	16					
	12	10					
3 学期	1	2	※大学入試問題	進学に対応した問題演習。	進学に対応した基礎学力の向上を図 る。		
	2	0					
	3	0					
合計時数		90					
教科書 副教材		教育出版「精選 古典B」/文英堂「新古典文法」/いっずな書店「プログレス古典 総演習 標準編」/いっずな書店「わかる・読める・書ける Key&Point古文単語3 30」/Learns-S「2024共通テスト対策【実力養成】重要問題演習古典」/尚文出版「新明説漢文」/尚文出版「新明説漢文ノート」いっずな書店「これでわかる明快古 典文法」					
評価の観点・方法		授業への取り組みの観察、課題やノート、問題演習テキストの確認、小テスト実施、定期考査の結果によって評価する。					
履修上の注意点		特になし					
特記事項等		特になし					

年間指導計画

教科		科目		履修対象年次	単位数
国語		古典基礎Ⅱ		3年次	2単位
身に付けられる力 ①自ら目標に向かって学ぶ姿勢 ②古典作品を楽しみながら味わうことのできる語彙力・文法知識・読解力・思考力					
学期	月	授業 時数	単元名	学習活動	身に付けられる力
1 学 期	4	4	宇治拾遺物語 「小野篁広才のこと」 枕草子 「中納言参りたまひて」 方丈紀 「行く河の流れ」 徒然草 「丹波に出雲といふ所あり」	古文 ①音読 文脈の把握 ②語彙の確認 ③文法事項の確認（敬語 助動詞）	古典に親しみ、その内容を理解するとともに、自ら古典を読むことができる力を身につける。 歌物語を読むことを通じて、人間像への考察を深め、また、和歌を読む力を身につける。
	5	8			
	6	8			
	7	4			
	8				
2 学 期	9	6	大鏡 「競べ弓」 土佐日記 「白波」	古文 ①音読 文脈の把握 ②語彙の確認 ③文法事項の確認（助動詞 助詞）	古典に親しみ、その内容を理解するとともに、古文の助動詞や敬語などの言語事項を学び、自ら古典を読むことができる力を身につける。 物語・随筆を読むことを通じて、そこに描かれる人間像やその当時の社会・文化への考察を深める。
	10	8			
	11	8			
	12	6			
3 学 期	1	2	論語 「暴虎馮河」	古文 ①基本的な文法事項を踏まえた読解 ②文法事項の確認（返り点 置き字）	古典に親しみ、その内容を深く理解するとともに、自ら古典を読み楽しむことができる力を身につける。 中国の思想に触れ、日本との関わりを考察することで、日本文化への理解を深める。
	2				
	3				
合計時数		54			
教科書 副教材		「古典A物語選 大修館書店」「古典単語330 いいずな書店」「新国語総合ガイド 京都書房」			
評価の観点・方法		予習、小テスト、定期考査による。 (内容的確な把握、訳語の適切な選択、文法の理解、時代背景の理解、等による現代語訳の力を評価する。)			
履修上の注意点		予習による「読み」「出典把握」「古典知識」「品詞分解」「重要語チェック」「重要文法事項チェック」「現代語訳」を必須とする。			
特記事項等		多くの古典作品に触れることを目的とし、読み味わうことにすすんで取り組むこと。 自発的・積極的に予習・授業・復習・小テスト・定期考査に取り組むこと。			

年間指導計画

教科		科目		履修対象年次	単位数
地理歴史		世界史演習		3年次	2単位
身に付けられる力 ・ 社会的事象についての知識理解 ・ 歴史的な思考力 ・ 歴史的な判断力 ・ 資料活用の技能					
学期	月	授業時数	単元名	学習活動	身に付けられる力
1学期	4	4	明の国際秩序と東アジア・世界帝国清王朝とアジア諸国	モンゴル帝国の後継国家としての明・清や、オスマン帝国などのイスラーム諸王朝が、強大かつ柔軟な統治体制をつくりあげ、独自の文明を発展させたことを学ぶ。また明・清の成立過程と、日本・朝鮮・琉球など周辺国家との関係や、東南アジアへの華僑・ヨーロッパ人の進出、およびイスラーム各王朝の動きとインド洋交易ネットワークを学ぶ。	社会的事象についての知識理解 歴史的な考察力 歴史的な思考力 資料活用の技能
	5	8	ティムール朝・オスマン帝国の成立・オスマン帝国の統治と社会		
	6	8	サファヴィー朝の発展・ムガル帝国の盛衰・ヒンドゥー勢力		
	7	4	英インド帝国成立・蘭領東インド成立・英海峡植民地成立・仏領インドシナ連邦成立		
	8				
2学期	9	6	清朝の動揺・アヘン戦争・アロー戦争・太平天国・洋務運動	欧米の列強諸国によってアジアの植民地化が進んでいく状況を地域ごとに学ぶ。また欧米による植民地が政治的支配を受けただけでなく、経済的にも従属していった過程を学ぶとともに、あわせて植民地化に対するアジア各地域の改革への動きを学ぶ。	社会的事象についての知識理解 歴史的な考察力 歴史的な思考力 資料活用の技能
	10	8	日本の開国・朝鮮の開国・清仏戦争と日清戦争		
	11	8	中国分割の危機・変法運動・義和団事件・日露戦争		
	12	6	日本の韓国併合・光緒新政・辛亥革命と清朝滅亡		
			戦間期の中国の民族運動（文学革命・五四運動）・国民革命・満州事変・日中戦争		
3学期	1	6			
	2				
	3				
合計時数		58			
教科書	新詳世界史B（帝国書院）				
副教材	ニューステージ世界史詳覧（浜島書店）				
評価の観点・方法	小テストの結果に、授業への取り組む姿勢等を加えて評価する。				
履修上の注意点	2年次に世界史Bを履修・修得した者であること。				
特記事項等	授業では実際の入試問題に対応するための演習を繰り返す。 大学入学共通テスト80%以上の正答率を目標とする。				

年間指導計画

教科		科目		履修対象年次	単位数
地理歴史		日本史Ⅱ		3年次	2単位
身に付けられる力 ・日本史的事象についての知識理解 ・日本史的事象を追及する技能 ・日本史的な思考・判断力					
学期	月	授業時数	単元名	学習活動	身に付けられる力
1学期	4	3	江戸時代の簡単なまとめ 第九章 近代国家の成立 開国と幕末の動乱 明治維新と富国強兵	<ul style="list-style-type: none"> ・長期間維持された封建社会の諸制度が、列強の接近時にどのような影響を与えたかを理解する。 ・明治の諸制度整備が封建制経済を否定して新しい経済体制を打ち立てるものであったことを理解する。 	日本史的事象についての知識理解 日本史的な思考・判断力 日本史的事象を追及する技能
	5	7			
	6	7			
	7	1			
	8				
2学期	9	3	立憲国家の成立と日清戦争 日露戦争と国際関係 近代産業の発展 近代文化の発達	<ul style="list-style-type: none"> ・政府の強力な中央集権体制の中、自由民権運動の始まりから立憲国家の成立に至る間、近代国家の基盤が形成されていく過程を、資料・史料を活用しながら考察する。 ・世界情勢を背景として、朝鮮をめぐる対立から日露戦争が勃発したことを理解する。 ・繊維を中心とした第一次産業革命があり、日清戦争後に製鉄・造船の重化学工業が形成されていったことを理解できる。 ・伝統的な文化のうえに欧米文化を摂取するなど二元性を持って成立した近代文化を理解する。 	日本史的事象についての知識理解 日本史的な思考・判断力 日本史的事象を追及する技能
	10	7			
	11	9			
	12	1			
3学期	1	1	センター演習		
	2				
	3				
合計時数		36			
教科書	改訂版 詳説日本史B 「山川出版社」				
副教材	ブロムナード日本史 「浜島書店」 日本史重要資料集 「浜島書店」				
評価の観点・方法	定期考査、授業への取り組み、レポート				
履修上の注意点	日本史Bを履修した者であること。				
特記事項等	なし				

年間指導計画

教科		科目		履修対象年次		単位数	
地歴		日本史 A		3年		2	
身に付けられる力		・日本史的事象についての知識理解 ・日本史的事象を追及する技能 ・日本史的な思考・判断力					
学期	月	授業 時数	単元名	学習活動	身に付けられる力		
1 学期	4	4	【近代日本の形成】 1. 国際情勢の変化と明治維新 ・アジア世界の変動 ・開国前後の日本 ・ペリー来航と条約調印 ・幕末政争の展開 ・大政奉還と王政復古 2. 明治新政府の諸改革 ・新政府の成立 ・身分制度の解体 ・地租改正と殖産興業 ・文明開化の社会 ・明治初期の外交と内政 ・北海道・琉球と国境問題 3. 立憲国家の成立 ・自由民権運動と政府の対応 ・松方財政と民権運動 ・大日本帝国憲法の制定 ・初期議会と条約改正 ・国民文化の諸相	近代の萌芽や欧米諸国のアジア進出，文明開化などに見られる欧米文化の導入と明治政府による諸改革に伴う社会や文化の変容，自由民権運動と立憲体制の成立に着目して，開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について考察する。	社会的事象についての知識理解 歴史的な考察力		
	5	7			民主主義について主体的に考察する力		
	6	6			資料活用 の技能		
	7	3					
	8						
2 学期	9	4	【東アジア世界の変動と日本】 1. 日清戦争と近代社会の確立 ・帝国主義の時代と東アジア ・日清戦争 ・日清戦争後の政治と社会 2. 日露戦争と帝国日本の形成 ・日英同盟と日露戦争 ・韓国併合と東アジア ・産業革命と資本主義の発達 ・桂園時代と社会問題 【二つの世界大戦と日本】 1. 第一次世界大戦と帝国日本 ・第一次世界大戦と日本の中国侵略 ・パリ講和会議と東アジアの独立運動 ・大戦による社会の変化と社会運動 ・大正デモクラシーの思想と大衆文化 ・帝国日本と移動する人々 2. 政党政治の時代 ・政党政治と国際協調 ・関東大震災と社会の統制 ・護憲三派内閣と協調外交のゆきづまり	条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化，政党の役割と社会的な基盤に着目して，国際環境や政党政治の推移について考察する。 産業革命の進行，都市や村落の生活の変化と社会問題の発生，学問・文化の進展と教育の普及，大衆社会と大衆文化の形成に着目して，近代産業の発展と国民生活の変化について考察する。	社会的事象についての知識理解 歴史的な考察力		
	10	6			民主主義について主体的に考察する力		
	11	6			資料活用 の技能		
	12	7					
3 学期	1	6	3. 軍国日本への道 ・昭和恐慌と深刻な不況 ・満州事変と満州国 ・軍部の台頭と二・二六事件 ・日中全面戦争の開始 ・国家総動員の時代 4. 太平洋戦争 ・第二次世界大戦と太平洋戦争 ・戦時総動員の徹底と矛盾 ・大東亜共栄圏 ・大日本帝国の崩壊へ	諸国家間の対立や協調関係と日本の立場，国内の経済・社会の動向，アジア近隣諸国との関係に着目して，二つの世界大戦とその間の内外情勢の変化について考察する。	社会的事象についての知識理解 歴史的な考察力		
	2	4			民主主義について主体的に考察する力		
	3	3			資料活用 の技能		
合計時数		56					
教科書 副教材		日本史 A 現代からの歴史（東京書籍） プロムナード日本史（浜島書店）					
評価の観点・方法		定期考査の結果に、授業への取り組む姿勢等を加えて評価する。					
履修上の注意点		なし					
特記事項等		なし					

年間指導計画

教科		科目		履修対象年次	単位数
地理歴史		日本史演習		3年次	2単位
身に付けられる力 ・日本史的事象についての知識理解 ・日本史的事象を追及する技能 ・日本史的な思考・判断力					
学期	月	授業時数	単元名	学習活動	身に付けられる力
1学期	4	4	第十章 二つの世界大戦とアジア	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな日本の政治制度を現代の政治制度と比較しながら理解する。 ・政党政治の変遷を理解する。 ・日本経済と満州事変との関係について理解する。 	日本史的事象についての知識理解 日本史的な思考・判断力 日本史的事象を追及する技能
	5	6	第一次世界大戦と日本		
	6	8	ワシントン体制		
	7		恐慌の時代		
	8		軍部の台頭		
2学期	9	4	第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・日中戦争と諸外国との関係について理解する。 ・ヨーロッパで勃発した第二次世界大戦と日本の戦争との関係性について理解する。 ・占領政策と日本の自立への努力を理解する。 	日本史的事象についての知識理解 日本史的な思考・判断力 日本史的事象を追及する技能
	10	8	第十一章 占領下の日本 占領と改革 冷戦の開始と講和		
	11	10	第十二章 高度成長の時代 55年体制 経済復興から高度成長へ		
	12	2	第十三章 激動する世界と日本 経済大国への道 冷戦の終結と日本社会の動揺		
3学期	1			<ul style="list-style-type: none"> ・現代に関わる諸問題について正しく理解する。 	
	2				
	3				
合計時数		36			
教科書	改訂版 詳説日本史B 「山川出版社」				
副教材	ブロムナード日本史 「浜島書店」 日本史重要資料集 「浜島書店」				
評価の観点・方法	定期考査、授業への取り組み、レポート				
履修上の注意点	日本史Bを履修した者であること。				
特記事項等	なし				

年間指導計画

教科		科目		履修対象年次	単位数
公民		倫理		3年次	2
身に付けられる力		人間としての在り方生き方に関する・思考力 ・判断力 ・表現力 ・主体的に多様な人々と協働する力 ・善悪、公正と正義に			
学期	月		単元名	学習活動	身に付けられる力
1 学期	4	4	・倫理とは何か、哲学とは何か、道徳とは ・青年期の課題と倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・根本的に考えることについて考察。 ・基本事項についての理解 ・倫理と哲学に関するの課題についての資料等から学ぶとともにピアワークにより情報を共有し、問題意識を深める。 ・知識理解の確認、表現力向上のためのインタラクティブな対話的授業 	思考力 判断力 表現力 協働する力 現代の社会に関する知識と、倫理的課題について主体的に考察し、ソリューションを考える力。
	5	8	・ギリシア思想と哲学の始まり、自然哲学 ・ソクラテスの生き方と、善く生きることについて		
	6	8	・プラトン/アリストテレスの思想 ・イエスの思想とキリスト教、アガペーについて/イスラームについて		
	7	4	・古代インドの思想とブッダの思想 ・大乗仏教の思想、空について		
	8				
2 学期	9	6	日本人としての自覚 ・古代日本の思想 ・日本の仏教思想	<ul style="list-style-type: none"> ・時事問題からの倫理的哲学的考察、討論。 ・基本事項についての理解 ・社会の課題についての資料等から学ぶとともにピアワークにより情報を共有し、倫理的哲学的な問題意識を深める。 ・知識理解の確認、表現力向上のための対話的授業 	思考力 判断力 表現力 協働する力 現代の社会に関する知識と、倫理的課題について主体的に考察し、ソリューションを考える力。
	10	8	・近世日本の思想 ・西洋思想の受容と展開 現代に生きる思想/西洋近代と現代の思想		
	11	8	・人間の尊厳 ・科学と技術 ・民主社会と自由 ・社会と個人、正義について		
	12	6	・人間への新たな問い		
3 学期	1	6	・社会参加と幸福 現代の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の課題に倫理的哲学的アプローチから、自ら課題を発見し、考察し、発表する（探究学習）。 ・生命への畏敬と、生命倫理の探究 ・戦争と平和に関する哲学的探究 ・ICTの進展に関する倫理的課題への探求（AIの倫理、ChatGPTにおける倫理的アプローチ） 	現代の社会に関する知識と、倫理的課題について主体的に考察し、ソリューションを探究し、協働しつつ、表現する力。
	2	8	・応用倫理 ・文化と宗教		
	3	4	・平和と福祉 社会参加と幸福		
合計時数		70			
教科書 副教材	倫理（実教出版） 詳解倫理資料新訂版（実教書店）				
評価の観点・方法	定期考査、課題提出、授業への取り組み姿勢等から総合的に評価する。				
履修上の注意点	なし				
特記事項等	なし				

年間指導計画

教科		科目		履修対象年次	単位数
公民		政治・経済		3年次	2
身に付けられる力		政治・経済に関する・思考力 ・判断力 ・表現力 ・主体的に多様な人々と協働する力 ・公正と正義について考える力			
学期	月	授業 時数	単元名	学習活動	身に付けられる力
1 学期	4	4	1. 民主政治の基本原理 2. 日本国憲法の基本的性格 3. 日本の政治	<ul style="list-style-type: none"> ・時事問題について考察、討論。 ・既習事項の基本事項についての理解 ・社会の課題についての資料等から学ぶとともにピアワークにより情報を共有し、問題意識を深める。 ・知識理解の確認、表現力向上のための対話的インタラクティブな授業 	思考力 判断力 表現力 協働する力 現代の政治に関する知識と、課題について主体的に考察し、ソリューションを考える力。
	5	8	民主政治の理念と制度についての歴史的な形成の在り方と基礎的な知識を学習する中で、人権の観念や民主政治の基本となる考え方を理解する。さらに、日本国憲法を学習する中で民主政治の究極の目標である基本的人権の保障を、具体的にどのように憲法は実現し、いかに守っていくのか、考えさせる。		
	6	8			
	7	4			
	8				
2 学期	9	6	4. 現代経済の仕組み 5. 現代経済と福祉の向上 6. 世界経済と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・時事問題について考察、討論。 ・基本事項についての理解 ・社会の課題についての資料等から学ぶとともにピアワークにより情報を共有し、問題意識を深める。 ・知識理解の確認、表現力向上のための対話的授業 ・政府/日銀の金融政策の調べ学習。 	思考力 判断力 表現力 協働する力 現代の経済に関する知識と、課題について主体的に考察し、ソリューションを考える力。
	10	8	経済体制がどのように変容してきたのかを理解し、資本主義体制がどのように成立し、変化してきたのかを理解する。さらに金融や財政の意義を学び、どのように発展し、どのような問題点を持っているのかを理解する。2023年		
	11	8	現在の経済社会における諸問題を考える。特に円安、日銀の政策の今後のあ		
	12	6			
3 学期	1	6	7. 現代社会の諸課題 8. 公正と正義についての考察	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の課題についての理解、現代社会の課題についての資料、新聞等から学ぶとともにグループワークによって情報を共有し、問題意識を深める。 ・社会の課題についての資料等から学ぶとともに情報を共有し、問題意識を深める。 ・知識理解の確認、表現力向上のための対話的授業 	現代の政治・経済に関する知識と、課題について主体的に考察し、ソリューションを探究する力。 時事問題への関心を高め、主体的に考察、探求する力。
	2	8	9. ジレンマの考察 10. 国際社会の諸課題の探究		
	3	4	G7の動き、地域経済統合のメリットデメリットの考察。		
合計時数		70			
教科書 副教材	高校政治・経済（実教出版） 最新図説政経（浜島書店）				
評価の観点・方法	定期考査、課題提出、授業への取り組む姿勢等から総合的に評価する。				
履修上の注意点	政治・経済演習（3年次）の履修を考えているものはこの授業の履修を必須とする。				
特記事項等	なし				

年間指導計画

教科 数学		科目 数学 I ・ 数学 A (受験数学 I A)		履修対象年次 3 年次		単位数 4	
科目担当者							
身に付けられる力		受験問題を解く力					
学期	月	授業 時数	単元名	学習活動		身に付けられる力	
1 学 期	4	4	1 式の計算 (1) 2 式の計算 (2) 3 1 次不等式の解法 4 集合	受験問題を解く為の重要事項の整理 受験問題の演習		受験問題を解く力	
	5	8	5 命題と論証 6 2 次関数 7 2 次関数の最大・最小				
	6	8	8 2 次方程式、2 次不等式 9 2 次関数の種々の問題 10 三角比の基本				
	7	4	1 1 三角比と図形 (1) 1 2 三角比と図形 (2) 1 3 三角比と図形 (3)				
	8						
2 学 期	9	6	1 4 データの分析 (1) 1 5 データの分析 (2) 1 6 場合の数・順列 (1)	受験問題を解く為の重要事項の整理 受験問題の演習		受験問題を解く力	
	10	8	1 7 順列 (2) ・ 組合せ 1 8 確率 (1) 1 9 確率 (2)				
	11	8	2 0 図形の性質 (1) 2 1 図形の性質 (2)				
	12	6	2 2 整数の性質 (1) 2 3 整数の性質 (2)				
3 学 期	1	6	総合問題	総合問題の演習		受験問題を解く力	
	2	0					
	3	0					
合計時数		140					
教科書 副教材		問題集： ニューステージ 数学演習 I ・ A + II B					
評価の観点・方法		① 定期考査の状況 ② 課題等の提出など、平常における授業への取り組み状況 ③ 小テストなどの状況					
履修上の注意点		数学 I および数学 A を履修済みのこと					
特記事項等		特になし					

年間指導計画

教科 数学		科目 数学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ (数学Ⅱ演習)		履修対象年次 3年次		単位数 4	
科目担当者							
身に付けられる力		受験問題を解く力					
学期	月	授業 時数	単元名	学習活動		身に付けられる力	
1 学期	4	8	§1 数と式 §2 方程式・不等式	受験問題を解く為の重要事項の 整理 受験問題の演習		受験問題を解く力	
	5	16	§3 二次関数 §4 データの分析 §5 集合と論理				
	6	16	§6 平面図形 §7 図形と式 §8 三角関数				
	7	8	§9 指数関数と対数関数				
	8						
2 学期	9	12	§10 数列	受験問題を解く為の重要事項の 整理 受験問題の演習		受験問題を解く力	
	10	16	§11 微分 §12 積分				
	11	16	§13 ベクトル §14 個数の処理 §15 確率				
	12	12					
3 学期	1	12	総合問題	総合問題の演習		受験問題を解く力	
	2						
	3						
合計時数		116					
教科書 副教材		・数研出版 ベーシックスタイル数学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ					
評価の観点・方法		① 定期考査の状況 ② 課題等の提出など、平常における授業への取り組み状況 ③ 小テストなどの状況					
履修上の注意点		なし					
特記事項等		なし					

年間指導計画

教科		科目		履修対象年次	単位数
数学		数学Ⅲ演習（数学Ⅲ）		3年次	2
身に付けられる力 1 初等関数の拡大とその微積分の理解および、それらの受験問題を解く能力。 2 2次曲線と媒介変数表示・極座標の理解および、それらの受験問題を解く能力。 3 複素数平面の理解および、それらの受験問題を解く能力。					
学期	月	授業 時数	単元名	学習活動	身に付けられる力
1 学 期	4	2	第1章 複素数平面 複素数平面・ド・モアブルの定理 ・複素数平面とベクトルの関係	講義形式の授業で、質問等を受けながら理解させ、演習を行い、小テスト・課題レポート・グループ演習の実施する。	複素数平面の理解および、それらの受験問題を解く能力。
	5	8	・平面図形への応用 第2章 式と曲線 2次曲線の性質の理解とその応用 ・種々の媒介変数表示曲線	講義形式の授業で、質問等を受けながら理解させ、演習を行い、小テスト・課題レポート・グループ演習の実施する。	2次曲線と媒介変数表示・極座標の理解および、それらの受験問題を解く能力。
	6	8	第2章 式と曲線 2次曲線の性質の理解とその応用 ・種々の媒介変数表示曲線 ・極座標・曲方程式であらわされた図形	講義形式の授業で、質問等を受けながら理解させ、演習を行い、小テスト・課題レポート・グループ演習の実施する。	2次曲線と媒介変数表示・極座標の理解および、それらの受験問題を解く能力。
	7	4	第3章 関数と極限 分数・無理関数・逆関数と合成関数 ・数列・関数の極限・無限級数の極限	講義形式の授業で、質問等を受けながら理解させ、演習を行い、小テスト・課題レポート・グループ演習の実施する。	初等関数の拡大の理解および、それらの受験問題を解く能力。
	8		数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・Ⅲの受験問題	課題を解いてくることが前提で、解答解説を行う。	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・Ⅲの理解および、それらの受験問題を解く能力。
2 学 期	9	6	第4章 微分法 ・微分係数と導関数 ・導関数・高次導関数と媒介変数表示関数の微分	講義形式の授業で、質問等を受けながら理解させ、演習を行い、小テスト・課題レポート・グループ演習の実施する。	初等関数の拡大とその微分の理解および、それらの受験問題を解く能力。
	10	8	・接線と法線の理解・平均値の定理の理解とその応用 ・関数の増減・最大・最小への応用	講義形式の授業で、質問等を受けながら理解させ、演習を行い、小テスト・課題レポート・グループ演習の実施する。	初等関数の拡大とその微分の理解および、それらの受験問題を解く能力。
	11	8	・方程式・不等式への応用 第5章 積分法 ・不定積分・定積分の基本性質	講義形式の授業で、質問等を受けながら理解させ、演習を行い、小テスト・課題レポート・グループ演習の実施する。	初等関数の拡大とその微積分の理解および、それらの受験問題を解く能力。
	12	6	・面積・体積への応用	講義形式の授業で、質問等を受けながら理解させ、演習を行い、小テスト・課題レポート・グループ演習の実施する。	初等関数の拡大とその微積分の理解および、それらの受験問題を解く能力。
3 学 期	1	6	受験問題演習	実際に受験問題のテストを実施し、解答解説を行う。	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・Ⅲの理解および、それらの受験問題を解く能力。
	2	8	過去問題演習「センター試験対策 明治大学 青山学院大学 中央大学 法政大学 早稲田大学 芝浦工業大学 工学院大学 等の理工系大学」	実際に受験問題のテストを実施し、解答解説を行う。	
	3	4		実際に受験問題のテストを実施し、解答解説を行う。	
合計時数		68			
教科書 副教材	4プロセス 数学Ⅲ（数研出版） 共通テスト対策 基礎徹底演習（ベネッセ）				
評価の観点・方法	① 定期考査の状況 ② 課題等の提出など、平常における授業への取り組み状況 ③ 課題テスト、課題レポートの状況				
履修上の注意点	数学Ⅱ及び数学Bを修得していること				
特記事項等	放課後講習・土曜講習・夏期講習に必ず参加すること				

年間指導計画

教科		科目		履修対象年次	単位数
数学		数学Ⅲ		3年次	6
身に付けられる力 1 初等関数の拡大とその微積分の理解および、それらの受験問題を解く能力。 2 2次曲線と媒介変数表示・極座標の理解および、それらの受験問題を解く能力。 3 複素数平面の理解および、それらの受験問題を解く能力。					
学期	月	授業 時数	単元名	学習活動	身に付けられる力
1 学 期	4	12	第1章 複素数平面 複素数平面・ド・モアブルの定理 ・複素数平面とベクトルの関係	講義形式の授業で、質問等を受けながら理解させ、演習を行う。	複素数平面の理解および、それらの受験問題を解く能力。
	5	24	・平面図形への応用 第2章 式と曲線 2次曲線の性質の理解とその応用 ・種々の媒介変数表示曲線	講義形式の授業で、質問等を受けながら理解させ、演習を行う。	2次曲線と媒介変数表示・極座標の理解および、それらの受験問題を解く能力。
	6	28	第2章 式と曲線 2次曲線の性質の理解とその応用 ・種々の媒介変数表示曲線 ・極座標・曲方程式であらわされた図形	講義形式の授業で、質問等を受けながら理解させ、演習を行う。	2次曲線と媒介変数表示・極座標の理解および、それらの受験問題を解く能力。
	7	18	第3章 関数と極限 分数・無理関数・逆関数と合成関数 ・数列・関数の極限・無限級数の極限	講義形式の授業で、質問等を受けながら理解させ、演習を行う。	初等関数の拡大の理解および、それらの受験問題を解く能力。
	8	0	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・Ⅲの受験問題	課題を解いてくることが前提で、解答解説を行う。	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・Ⅲの理解および、それらの受験問題を解く能力。
2 学 期	9	22	第4章 微分法 ・微分係数と導関数 ・導関数・高次導関数と媒介変数表示関数の微分	講義形式の授業で、質問等を受けながら理解させ、演習を行う。	初等関数の拡大とその微分の理解および、それらの受験問題を解く能力。
	10	30	・接線と法線の理解・平均値の定理の理解とその応用 ・関数の増減・最大・最小への応用	講義形式の授業で、質問等を受けながら理解させ、演習を行う。	初等関数の拡大とその微分の理解および、それらの受験問題を解く能力。
	11	28	・方程式・不等式への応用 第5章 積分法 ・不定積分・定積分の基本性質	講義形式の授業で、質問等を受けながら理解させ、演習を行う。	初等関数の拡大とその微積分の理解および、それらの受験問題を解く能力。
	12	22	・面積・体積への応用	講義形式の授業で、質問等を受けながら理解させ、演習を行う。	初等関数の拡大とその微積分の理解および、それらの受験問題を解く能力。
3 学 期	1	12	受験問題演習	実際に受験問題のテストを実施し、解答解説を行う。	数学Ⅰ・Ⅱ・A・B・Ⅲの理解および、それらの受験問題を解く能力。
	2	0	過去問題演習「センター試験対策 明治大学 青山学院大学 中央大学 法政大学 早稲田大学 芝浦工業大学 工学院大学 等の理工系大学」	実際に受験問題のテストを実施し、解答解説を行う。	
	3	0		実際に受験問題のテストを実施し、解答解説を行う。	
合計時数		196			
教科書 副教材	4プロセス 数学Ⅲ (数研出版) 共通テスト対策 基礎徹底演習 (ベネッセ)				
評価の観点・方法	① 定期考査の状況 ② 課題等の提出など、平常における授業への取り組み状況 ③ 課題テスト、課題レポートの状況				
履修上の注意点	数学Ⅱ及び数学Bを修得していること				
特記事項等	放課後講習・土曜講習・夏期講習に必ず参加すること				

令和4年度 年間指導計画

教科 数学		科目 数学 I (3年次看護数学)		履修対象年次 3年次	単位数 2
科目担当者					
身に付けられる力		受験問題を解く力			
学期	月	授業 時数	単元名	学習活動	身に付けられる力
1 学 期	4	4	第1章 数と式	受験問題を解く為の重要事項の整理 受験問題の演習	受験問題を解く力
	5	8	第1章 数と式	受験問題を解く為の重要事項の整理 受験問題の演習	受験問題を解く力
	6	8	第2章 2次関数	受験問題を解く為の重要事項の整理 受験問題の演習	受験問題を解く力
	7	4	第2章 2次関数	受験問題を解く為の重要事項の整理 受験問題の演習	受験問題を解く力
	8				
2 学 期	9	6	第3章 図形と計量	受験問題を解く為の重要事項の整理 受験問題の演習	受験問題を解く力
	10	8	第3章 図形と計量 第5章 相似と計量	受験問題を解く為の重要事項の整理 受験問題の演習	受験問題を解く力
	11	8	第4章 データの分析 第6章 場合の数と確率	受験問題を解く為の重要事項の整理 受験問題の演習	受験問題を解く力
	12	6	第7章 図形の性質 第8章 整数の性質	受験問題を解く為の重要事項の整理 受験問題の演習	受験問題を解く力
3 学 期	1	6	第9章 総合問題	総合問題の演習	受験問題を解く力
	2	0			
	3	0			
合計時数		58			
教科書 副教材		問題集： アクセス 看護医療学校受験 数学I・A			
評価の方法		① 定期考査の状況 ② 課題等の提出など、平常における授業への取り組み状況 ③ 課題テスト、小テストなどの状況			
履修上の注意点		数学 I および数学 A を履修済みのこと			
特記事項等		特になし			

年間指導計画

教科		科目		履修対象年次	単位数
理科		生物基礎演習		3	2
身に付けられる力		生物に関する基礎学力・探究力・科学的な見方や考え方・論理的考察力・分析力及び受験問題を解く力			
学期	月	授業 時数	単元名	学習活動	身に付けられる力
1 学 期	4	4	第1章 生物の特徴 生物の多様性と共通性 細胞とエネルギー	科目「生物基礎」で扱わなかった発展的 内容及び重要事項の復習 受験問題を解く為の重要事項の整理 受験問題の演習	1 生物や自然に対する探究力 2 科学的思考力・判断力 3 論理的な思考力 4 データ分析力 5 生命現象についての基本的な概念 の理解と知識
	5	8			
	6	8	第2章 遺伝子とその働き 遺伝子の本体の構造 遺伝情報の複製と分配		
	7	4			
	8	0			
2 学 期	9	6	第2章 遺伝子とその働き 遺伝情報とタンパク質合成	科目「生物基礎」で扱わなかった発展的 内容及び重要事項の復習 受験問題を解く為の重要事項の整理 受験問題の演習	1 生物や自然に対する探究力 2 科学的思考力・判断力 3 論理的な思考力 4 データ分析力 5 生命現象についての基本的な概念 の理解と知識
	10	8			
	11	8	第3章 生物の体内環境の維持 体液とその働き 体内環境の維持 生体防御		
	12	6			
3 学 期	1	6	第4章 植生と多様性と分布 植生と遷移 バイオームとその分布	科目「生物基礎」で扱わなかった発展的 内容及び重要事項の復習 受験問題を解く為の重要事項の整理 受験問題の演習	1 生物や自然に対する探究力 2 科学的思考力・判断力 3 論理的な思考力 4 データ分析力 5 生命現象についての基本的な概念 の理解と知識
	2	8			
	3	4	第5章 生態系とその保全 生態系 生態系の場バランスと保全		
合計時数		70			
教科書 副教材	『生物基礎』（第一学習社） スクエア最新図説生物neo(第一学習社) ・標準セミナー生物基礎（第一学習社）・チェック&演習生物基礎（数研出版） ・2024共通テスト実践問題バックV生物基礎				
評価の観点・方法	上記の観点により、定期考査・小テスト等の試験成績， 授業の取り組み（授業態度、課題の提出状況、質問や回答状況等）等を用いて、「学習意欲・姿勢」「習得の程度」「科学的思考力」等を総合的に評価します。				
履修上の注意点	毎回の予習復習は必須です。				
特記事項等	なし				

年間指導計画

教科		科目		履修対象年次	単位数
理科		化学演習		3年次	3単位
身に付けられる力 ・ 化学の基本的な知識 ・ 科学的思考力や判断力 ・ 論理的思考力 ・ 表現力					
学期	月	授業 時数	単元名	学習活動	身に付けられる力
1 学 期	4	6	第1章 物質の状態と平衡 状態変化 気体の性質 固体の構造 溶液	科目「化学」で扱わなかった発展的内容 受験問題を解く為の重要事項の整理 受験問題の演習	化学の基本的な知識
	5	12			科学的思考力や判断力
	6	12	第2章 物質の変化と平衡 化学反応とエネルギー 反応の速さ 化学平衡		論理的思考力
	7	6			表現力
	8	0			
2 学 期	9	9	第3章 無機物質 周期表 非金属元素 金属元素	科目「化学」で扱わなかった発展的内容 受験問題を解く為の重要事項の整理 受験問題の演習	化学の基本的な知識
	10	12			科学的思考力や判断力
	11	12	第4章 有機化合物 有機化合物の特徴と構造 脂肪族炭化水素 酸素を含む脂肪族化合物 芳香族化合物		論理的思考力
	12	9			表現力
3 学 期	1	9	第5章 高分子化合物 合成高分子化合物 天然高分子化合物	科目「化学」で扱わなかった発展的内容 受験問題を解く為の重要事項の整理 受験問題の演習	化学の基本的な知識
	2	12			科学的思考力や判断力
	3	6			論理的思考力 表現力
合計時数		105			
教科書 副教材	化学（数研出版） ベストフィット化学（実教出版）、 ニューステージ新化学図表（浜島書店）				
評価の観点・方法	定期考査、小テスト、その他提出物で総合的に評価				
履修上の注意点	履修対象：大学受験、進路先等で化学を必要とするもの。				
特記事項等	なし				

	月	授業 時数	単元名		学習活動	身に付けられる力
1 学 期	4	6	英作文	時制	構文の理解を深め、パターンをインテイク リーディング ライティング スピーキング	時制を含む構文を活用して、英語を書いたり話したりできる力。
	5	10	英作文・ Empower	助動詞	構文の理解を深め、パターンをインテイク リーディング ライティング スピーキング	助動詞を含む構文を活用して、英語を書いたり話したりできる力。
	6	10	英作文・ Empower	条件・仮定	構文の理解を深め、パターンをインテイク リーディング ライティング スピーキング	条件・仮定を含む構文を活用して、英語を書いたり話したりできる力。
	7	6	英作文・ Empower	態	構文の理解を深め、パターンをインテイク リーディング ライティング スピーキング	態を含む構文を活用して、英語を書いたり話したりできる力。
	8					
2 学 期	9	6	英作文・ Empower	不定詞・動名詞	構文の理解を深め、パターンをインテイク リーディング ライティング スピーキング	不定詞・動名詞を含む構文を活用して、英語を書いたり話したりできる力。
	10	10	英作文・ Empower	分詞	構文の理解を深め、パターンをインテイク リーディング ライティング スピーキング	分詞を含む構文を活用して、英語を書いたり話したりできる力。
	11	10	英作文・ Empower	関係詞	構文の理解を深め、パターンをインテイク リーディング ライティング スピーキング	関係詞を含む構文を活用して、英語を書いたり話したりできる力。
	12	8	英作文・ Empower	関係詞	構文の理解を深め、パターンをインテイク リーディング ライティング スピーキング	関係詞を含む構文を活用して、英語を書いたり話したりできる力。

年間指導計画

教科		科目		履修対象年次		単位数	
外国語		コミュニケーション英語Ⅲ		3年次		3単位	
身に付けられる力		①長文を聴いたり読んで、正しく内容を理解する力。②与えられたトピックについて自分の意見を英語で表明することができる力					
学期	月	授業 時数	単元名	学習活動		身に付けられる力	
1 学 期	4	4	Reading Skill 1-4	リスニング リーディング ライティング スピーキング		本文を聞き、全体の構成をとらえる 力 本文を読み、正確に内容をとらえる 力 本文の内容について自分の意見を表 明する力	
	5	8	Reading Skill 5,6 Lesson 2 A Mayor of Machu Picchu Village	リスニング リーディング ライティング スピーキング			
	6	13	Lesson 5 Artificial Intelligence	リスニング リーディング ライティング スピーキング			
	7	4	1学期の学習内容のまとめ	リスニング リーディング ライティング スピーキング			
	8						
2 学 期	9	7	Lesson 9 Augn San Suu Kyi	リスニング リーディング ライティング スピーキング		本文を聞き、全体の構成をとらえる 力 本文を読み、正確に内容をとらえる 力 本文の内容について自分の意見を表 明する力	
	10	9		リスニング リーディング ライティング スピーキング			
	11	11	Lesson 14 A Varitety of "Englishes"	リスニング リーディング ライティング スピーキング			
	12	7	2学期の学習内容のまとめ	リスニング リーディング ライティング スピーキング			
3 学 期	1	3	入試演習	リスニング リーディング ライティング スピーキング		本文を聞き、全体の構成をとらえる 力 本文を読み、正確に内容をとらえる 力 本文の内容について自分の意見を表 明する力	
	2						
	3						
合計時数		66					
教科書 補助教材		MY WAY Ⅲ English Communication / workbook / Reading Core for 共通テスト / Listening Training 10 min. / Seek Next 3 キクタン【 Basic / Advanced 】					
評価の方法 評価の観点		定期考査 課題テスト パフォーマンステスト 小テスト					
履修上の注意点		なし					
特記事項等		なし					

年間指導計画

教科		科目		履修対象年次		単位数	
外国語		英語受験演習		3年次		2単位	
身に付けられる力 ①長文を読解するためのノウハウを知り、速読できる力。② 基本的語法 文法を理解し問題に正答する力 ③英語を聞き取る力							
学期	月	授業 時数	単元名	学習活動	身に付けられる力		
1 学 期	4	4	Cutting Edge G : Chapter 1-2 Smart Reader : Zone1 実践問題1-4 Next Stage : 時制・動詞の語法	長文問題演習 英文解釈 文法問題総合演習 共通テスト対策リスニング	本文を読み 全体の構成をとらえる力 文法・語法を知り演習問題に正答する力 英語を正確に聞き取り理解する力		
	5	6	Cutting Edge G : Chapter 3-5 Smart Reader : Zone1 実践問題5-10 Next Stage : 態・助動詞・動詞の語法				
	6	6	Cutting Edge G : Chapter 6-10 Smart Reader : Zone1 実践問題11-15				
	7	4	1学期の学習内容のまとめ				
	8						
2 学 期	9	6	Cutting Edge B : Chapter 1-2 Smart Reader : Zone2 実践問題16-20	長文問題演習 英文解釈 文法問題総合演習 共通テスト対策リスニング	本文を読み 全体の構成をとらえる力 文法・語法を知り演習問題に正答する力 英語を正確に聞き取り理解する力		
	10	6	Cutting Edge B : Chapter 3-5 Smart Reader : Zone1 実践問題21-24				
	11	10	入試総合演習				
	12	4					
3 学 期	1	2	入試総合演習	長文問題演習 英文解釈 文法問題総合演習 共通テスト対策リスニング	本文を読み 全体の構成をとらえる力 文法・語法を知り演習問題に正答する力 英語を正確に聞き取り理解する力		
	2						
	3						
合計時数		48					
教科書 補助教材		Cutting Edge 【Green / Blue】 ・ Next Stage 4th Edition ・ Next Stage 【Best Trainer / Winning Spirit】 ・ Smart Reader Standard ・ Listening 15 min.					
評価の方法 評価の観点		定期考査 課題テスト 小テスト					
履修上の注意点		なし					
特記事項等		なし					